

彙報

妻の職業別出産力調査(第一次)の集計事項の決定

今昭和十八年三月人口民族部に於いて施行せる妻の職業別出産力調査(第一次)についてはその調査要綱等本誌第三卷第十二號本欄に既報の如くであるが、最近その全調査票の回収を了へ、左の如き事項につき集計を行ふべく決定した。

妻の職業別出産力(第一次)調査集計事項

- 一、妻の職業の従業時期別夫婦數及出生兒數
- 二、妻の職業の従業時期及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數
- 三、妻の職業の種類別夫婦數及出生兒數
- 四、妻の職業の種類及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數
- 五、妻の職業の種類、婚姻年齢及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數
- 六、妻の職業の種類及従業期間別夫婦數並に出生兒數

七、妻の職業の種類、従業期間及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數

八、妻の職業の種類及其の従業時期別夫婦數並に出生兒數

九、妻の職業の種類及初婚再婚別夫婦數並に出生兒數
一〇、妻の職業の種類、初婚再婚及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數

一一、妻と夫の職業の組合せより見たる夫婦數及出生兒數

一二、妻と夫の職業の組合せより見たる婚姻持續期間別夫婦數及出生兒數

一三、妻の職業の種類及夫婦の所得階級別夫婦數並に出生兒數

一四、妻の職業の種類、婚姻持續期間及夫婦の所得階級別夫婦數並に出生兒數

一五、妻の職業の種類及耕作段別夫婦數並に出生兒數

一六、妻の職業の種類、婚姻持續期間及耕作段別夫婦數並に出生兒數

一七、妻の職業の種類別出産數及死産數

一八、妻の職業の種類及分娩時の母の年齢別出産數並に死産數

一九、妻の職業に従事せる全期間別夫婦數及出生兒數

二〇、妻の職業に従事せる全期間及婚姻持續期間別夫婦數並に出生兒數

二一、妻の職業の種類及婚姻持續期間別夫婦數並に無子夫婦數

二二、妻の職業の種類別乳兒死亡率

二三、妻の職業の種類別初婚者年齢度數分布及平均初婚年齢

二四、妻の職業に従事せる全期間別初婚者年齢度數分布及平均初婚年齢

二五、妻の職業の従業時期別初婚者年齢度數分布及平均初婚年齢

二六、妻の従事せる職業の數別初婚者年齢度數分布及平均初婚年齢

人口民族部研究報告會

○徳川時代全國人口の再吟味(昭和十八年五月十九日)……………關山研究官

國民職業能力申告令第二條第六號の要申告者に關する申告の特例に關する件中改正の件公布

國民職業能力申告令第二條第六號の要申告者に關する申告の特例に關する件中改正の件は昭和十八年四月十七日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民職業能力申告令第二條第六號ノ要申告者ニ關スル申告ノ特例ニ關スル件中改正ノ件

(昭和十八年四月十七日厚生省令第十五號)

第一條中「昭和十六年十月十六日」ヲ削リ「九月末日現在ヲ以テ十月十日」ヲ「四月末日及十月末日現在ヲ以テ各其ノ翌月十日」ニ改ム

過誤ナキヲ期スコト

二世帯主ニ就キ要申告者ノ範圍及登錄票ノ記入方ヲ懇切ニ指示スルコト

三要申告者ニ就キ職務ヲ執行スル際必要ナキ事項ヲ質問セザルコト

四 擔當區域ト隣接調査區域トノ間ニ重複、脱漏又ハ所屬不明ノ地域アリト認めムルトキハ直ニ其ノ旨市町村長ニ申出テ指揮ヲ請フコト

五 登錄票ノ蒐集ノ際新ニ要申告者ヲ發見シタルトキハ直ニ登錄票ヲ交付シ記入ヲ爲サシメ之ヲ蒐集スルコト

六 第七十條ノ規定ニ依リ登錄票及連名表ノ提出後ニ於テモ國民職業指導所長又ハ市町村長ヨリ説明又ハ再調査ヲ命ゼラレタルトキハ調査ノ上速ニ答申スルコト

第六十二條 市町村長ハ申告漏ノ要申告者アリト認めタルトキハ勞務動態調査員ヲシテ速ニ調査ヲ爲サシメ又ハ便宜ノ方法ニ依リ申告セシムベシ
「第一款青壯年國民登錄票用紙ノ交付」ヲ「第二款登錄票用紙ノ交付」ニ改ム

第五十九條中「九月二十一日(昭和十五年ニ限リ十月二十一日)」ヲ「申告期限前二十日」ニ「青壯年國民登錄票用紙(以下登錄票用紙ト稱ス)」ヲ「登錄票用紙」ニ改メ同條ヲ第六十三條トス

第六十條中「九月末日(昭和十五年ニ限リ十月末日)」ヲ「申告期限前十日」ニ改メ同條ヲ第六十四條トス

第六十一條ヲ第六十五條トシ第六十二條ヲ第六十六條トシ第六十三條ヲ第六十七條トス

「第二款青壯年國民登錄票ノ蒐集及提出」ヲ「第三款登

錄票ノ蒐集及提出」ニ改ム

第六十四條第二項ヲ左ノ如ク改メ同條ヲ第六十八條トス

勞務動態調査員前項ノ規定ニ依リ登錄票ノ蒐集ヲ爲スニ當リテハ登錄票ノ記載事項ニ脱漏又ハ誤謬ナキヲ確認シタル上之ヲ受理スベシ

第六十五條中「第六十三條」ヲ「第六十七條」ニ改メ同條ヲ第六十九條トス

第六十六條ヲ第七十條トス

第六十七條第二項中「翌年」ヲ「次」ニ改メ同條ヲ第七十一條トス

第六十八條中「部落會長又ハ町内會長」ヲ「部落會長、町内會長又ハ隣組長」ニ改メ同條ヲ第七十二條トス

「第三款青壯年國民登錄票ノ分類及集計」ヲ「第四款登錄票ノ分類及集計」ニ改ム

第六十九條中「七十條」ヲ「第七十四條」ニ改メ同條ヲ第七十三條トス

第七十條中「翌年」ヲ「次」ノ申告ニ依ルニ改メ同條ヲ第七十四條トス

第七十一條ヲ第七十五條トシ第七十二條ヲ第七十六條トシ第七十三條ヲ第七十七條トス

附表様式第九號、附表様式第十號及附表様式第十一號中「昭和 年分」ヲ「昭和 年月分」ニ改ム

健康保險特別會計規則中改正の件公

布

健康保險特別會計規則中改正の件は昭和十八年四月二十一日付官報を以て左の如く公布せられた。

健康保險特別會計規則中改正ノ件

(昭和十八年四月二十日 勅令第三百九十號)

健康保險特別會計規則中左ノ通改正ス

第四條ノ二中「又ハ補給金」ヲ「家族療養費又ハ配偶者分娩費」ニ改ム

第八條 削除

附則

本令ハ昭和十八年度ヨリ之ヲ適用ス

職員健康保險特別會計規則及健康保險積立金運用規則ハ之ヲ廢止ス但シ昭和十七年度分ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

〔參照〕

昭和元年十二月二十 勅令第四號健康保險特別會計規則抄録

規則抄録

第四條ノ二 支出官ハ保險給付費ノ中療養費、看護

若ハ移送ノ費用、傷病手当金、埋葬料、埋葬費、

分娩費、出産手当金又ハ補給金ニ付所屬ノ出納官

更ニ資金ノ前渡ヲ爲スコトヲ得

第八條 健康保險特別會計法第三條第一項ニ規定ス

ル被保險者ノ員數ノ計算ニ付テハ健康保險法施行

令第九十二條ノ規定ヲ準用ス

厚生省人口局の昭和十八年度妊産婦

保健指導及保護實施要綱の決定

昭和十七年七月公布の妊産婦手帳規程による妊産婦の保健指導及び保護の一段の徹底を期し厚生省人口局に於いては之が昭和十八年度實施要綱を決定、昭和十八年四月二十日付次官通牒を以て各地方長官宛通告